

(指定様式)

団体調書【はじめての一步部門】

(1) 団体概要

団体名	ぶるぷるネットあいち	HP 等 URL	http://bleple-net.themedia.jp/
団体種別と 設立年月	<input type="checkbox"/> NPO 法人 (年 月) <input type="checkbox"/> その他法人 (年 月) <input checked="" type="checkbox"/> 任意団体 (平成 31 年 9月)	活動分野	1 3
代表者名	役職名：会長 氏 名：本多ゆかり	会員数	5 名
団体連絡先 (申請担当者)			

(2) 会員名簿

	氏名	役職名	住所	生年月日
※役員が 5 人以上の場合は、別に名簿を添付してください。	本多ゆかり	会長		
	西野ゆみ	副会長		
	福田朋美	会計		
	小野田有里	広報		
	關山結花	書記		

(3) 団体の活動目的

活動の目的・目標	多胎児を持つ親(妊婦や里帰り含む)同士が交流する場を提供し、多胎児の子育ての不安・疑問等を共有したり、先輩ママに相談することで悩みや不安を解消し、前向きな気持ちで育児に取り組めるように支援することを目的としています。今後は市役所の開催する母子推進委員の講座を会員が受講し、資格を持つことでおめでとう訪問の事業を多胎家庭に特化して市役所から委託されることを目標として活動していきます。おめでとう訪問を多胎先輩ママが担うことにより、産後間もない多胎家族の交流会会場に足を運べない新米ママとつながることができるようになるので、サポートを最も必要とする多胎家庭を支援することができるものと考えております。
活動の内容・活動実績	多胎児家族の情報交換会及び運動遊びや写真撮影会などのイベントを実施 月 3～4 回 (浄水交流館 月 1～2 回、志賀ゆうゆう月 1～2 回)

(4) 補助金の使用用途と活用する活動・事業内容など

<p>消耗品代 12,700 円(購入予定品:プリンターインクカートリッジ 6,000 円×2 個、A4 用紙 500 枚 使用目的:交流会参加者名簿、年間スケジュール表の作成、Xmas やハロウィンなどのイベントのデコレーション作成)</p> <p>備品購入費: 23,000 円(購入予定品:バランスストーンや車のおもちゃ、ブロックなど 使用目的:浄水交流館で行う交流会に参加する多胎児のお子さんが遊ぶためのおもちゃとして 効果:お子さんたちがおもちゃで遊ぶ間に多胎ママ同士が交流を深められる)</p> <p>印刷製本費 交流会案内チラシ作成 6,000 円(配布時期:通年 配布先:産科のある病院や子育て支援センター近辺のカフェ等 部数:200 部 効果:多胎支援活動のPR)</p> <p>保険料 ボランティア保険 2,500 円 (250 円×5 人×2 年分)(目的:活動中の事故などの補償があることでスタッフが安心して活動に参加できるようにするため)</p> <p>交通費 支援者交流会等に参加の際のスタッフ交通費 6,000 円(豊田~名古屋一社往復 2000 円×3 名)(参加目的:あいち多胎ネット主催の多胎家庭支援者の交流会に参加し情報収集するため 効果:多胎支援活動に役立つ情報を得ることで、今後の交流会の内容をよりよいものにすることができる)</p> <p>燃料費 スタッフのイベント参加及び講座受講時のガソリン 40,000 円(200 円×5 名×40 回)会則に記載)</p> <p>通信費 スタッフの電話代、インターネット使用料等 18,000 円 (300 円×5 名×12 ヶ月、会則に記載)</p>

(5) 審査項目毎にアピールしたいこと

<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会課題に対して、団体の活動目的が明確となっているか。(趣味や娯楽、特定の個人や団体の利益が目的となっていないか) 	<p>豊田市では年間約 30~40 組の双子三つ子等の多胎児が出生します。赤ちゃんや小児の時期は外出するだけでも多胎児家庭には大きな労力を要するため、孤独に陥りやすいものです。同じ多胎育児をする仲間がつながる場を提供することは虐待、産後鬱抑止のために大切だと考えています。</p>
<p>【資金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の自主的な財源を確保しようとしているか(会費・参加費等)。 	<p>写真撮影会などのイベントの際には参加費を徴収します。</p> <p>市が主催する多胎パパママ教室に参加した際の謝礼や、将来的には、本年度中に母子保健推進員の資格を取得(7月から10月までに6回講座受講後、実習を受けることで取得できる見込みです。スタッフ3名~4名が資格取得予定)し、多胎ファミリー対象のおめでとう訪問を市から委託を受けることができるようになれば、その謝礼を財源にしたいと考えています。また、コロナウィルスの流行が収束するようであれば、多胎児育児用品のバザーを行い、その売り上げを財源に充てたいと考えていますが、これは実施可能か不確定なため、今年度の収支予算には記載しておりません。</p>
<p>【継続性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の組織的な活動ができる体制が整っているか。 ・適正な事業計画が作成されているか。 	<p>今後も就園予定の多胎児ママをスタッフに誘ったり、地域の民生委員やボランティアにも協力を仰ぎながら、多胎児支援を継続していく予定です。</p>